

真実と愛の極み—教育の根源にあるもの
(本号2Pより)の著者である森田宗一氏は、家庭裁判所の判事で、長年、非行少年の問題にとりくんでおられるこの道の長老である。お茶の水女子大学では、久しく、

講師として家庭教育を講義して下さっている方である。今回寄せられた一文は、教育の根本精神にふれ、現代の教育界に欠けているものを、鮮明に描き出された、稀に出会う類の文章であろう。いつの時代にも、古今東西を通じて、人の心を揺ぶらずにおかない、人間の心の底にふれるものを持つている。この一つの文章が生まれるためには、一人の青年が死刑になり、一人の教師が八年間たゆまずに導びき、一人の盲目の婦人が生涯の愛を捧げ、そして、一人の有能な判事が数十年の専門の生涯の重みをかけて書き記されたものであることを思うとき、これは稀にしかゆきあたることのできない貴い文章であることを感ずる。なまなましく、われわれの記憶に残る時期

に、この文章を読むことのできる幸いを読者とともにならわちたいと思う。そして幼児教育の底に流れるものは何であるかを考える機会をも与えられたことを感謝したい。

幼稚園の生活も、六月、七月と時を重ねてくるうちに、幼児の活動も活発になってきた時期である。しかしそれだけに、子どもは自分のしたいことも明瞭になり、希望もつよくなつて、幼稚園の側でそのエネルギーをうけとめきれない場合も出てくるであらう。保育者の側でも、よほどがんばって材料を工夫し豊富にし、また、その場のぞんで、せっせと身体を動かして幼児の要望にこたえてやらなければならない時期である。活発になつてきた子どものエネルギーを、しばることを考えるよりも、いっしょになつて、それを建設的な方向に向けてゆくのに力をつくさねばならない。それがこの時期を治めるのに必要な保育者の技術であらう。

幼児の教育 第六十七巻第七号

七月号 © 定価八〇円

昭和四十三年 六月二十五日印刷
昭和四十三年 七月 一日発行

東京都文京区大塚二ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚二ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一
印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一
発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番
◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館 館にお願いたします